

# 創世記

ヨセフによる福音書

PART TWO

# もくじ

- I. 使い方
- II. はじめに
- III. 創世記 42:1-38 → ヨセフの兄弟達エジプトへ行く
- IV. 創世記 43:1-34 → ヨセフの兄弟達エジプトへ戻る
- V. 創世記 44:1-34 → ヨセフ兄弟達を試す
- VI. 創世記 45:1-28 → ヨセフ兄弟達に与える
- VII. 創世記 46:1-34 → ヤコブとヨセフの再会
- VIII. 創世記 47:1-31 → ヨセフと飢饉
- IX. 創世記 50:1-26 → 神の良い目的

# 使い方

グレイスシティチャーチではC.O.M.A. (Context = 文脈、Observation = 観察、Meaning = 意味、適応 = 適用) の方法を用いています。この方法を持って聖書箇所に取り組んでいきましょう。私たちは理論に焦点を当てた「議論のための質問」を「応答するための質問」（参加者が聖書箇所の中心テーマと個人的に対話することを求める質問）に置き換えることが適切だと考えています。

## 文脈 →

1. 周囲の節、段落、章、出来事などに注意を払い、読んでいる箇所が、聖書の中の特定の書物の文脈にどのように当てはまるかを確認してください。
2. この箇所が聖書全体の大きなストーリーにどのように当てはまるのか、つまり、神がイエス・キリストを通してどのように人々を救い、神の御国でご自身の支配のもとに生きていくようにしたか、に注目してください。

## 観察と意味 →

3. 聖書本文を注意深く観察しましょう。接続ワード（例：「～なので」「もし」「ですから」など）、繰り返し、対話、物語、旧約聖書の引用などの詳細に目を留めましょう。

4. 聖書本文の意味を理解するためには、著者の目的や意図（聖書の著者はなぜこれを書いているのか？）を見極める必要があります。
5. 手助けとなる質問の例：
  - ▶ 誰が、誰に向けて書いていますか？
  - ▶ 著者と読者の状況はどうでしたか？
  - ▶ 取り組むべき問題があり、そちらへ目を向けるようにと促されていますか？
  - ▶ 繰り返されるテーマや、すべてをまとめている一つの主題はありますか？

## 適応 →

6. 神のことばを心に適用しましょう。「心」に関する良い質問をすることで、単に状況や行動に対処することの先へと進みましょう。例えば、「なぜ私たちはこうするのでしょうか？」「私たちは本当のところ何を望んでいるのでしょうか？」
7. 常に福音を適用に結びつけましょう。例えば、「キリストを知っていることは、私たちの神への従順にどのような違いをもたらすのでしょうか？」
8. 神、私たち自身、キリストにある救い、教会、世界などについて、その箇所が私たちに何を教えているのかを尋ねてみましょう。



はじめに

# はじめに

創世記の最後の14章は、ヨセフの人生の浮き沈みに目を向けています。ヨセフもヤコブの息子の一人でした。ヤコブには12人の息子がいましたが、ヨセフを他の息子たちよりも愛していました。その愛情の象徴として、ヨセフに色のついたあや織りの長服を与えたのです。ヨセフの兄弟達は嫉妬し、ヨセフを奴隷として売り飛ばしました。ヨセフがエジプトに連れて行かれ、やがてファラオの役人の一人であるポティファルの執事となったのです。

創世記の筆者はモーセです。モーセは神によって召され、イスラエルの人たちをエジプトから奴隷の身から解放し、荒野を通り、約束の地カナンへと導いた預言者です。モーセはヨセフの人生を取り巻く出来事が、神の命令によるものであり、神の契約の約束の成就であることを理解していました。この創世記の終章では、神の摂理だけでなく、聖書全体に共通するパターンも教えています。聖書において、神に選ばれた解放者の一人が拒絶されるたびに、その拒絶が神の民の解放に重要な役割を果たすというパターンです。イエスはこのパターンの最終的な例であるのです（使徒の働き4:27-28参照）。

## 大きなストーリーの中に位置づける

ヨセフの物語は3つの段階を軸に展開し、それぞれの段階がイエスの人格と御業の一面を反映しています：

- 最愛なる息子
- 拒絶された奴隷
- 崇高な救い主

神はヨセフをエジプトに遣わし、彼を祝福し、大きな権力の座に就かせました。そして自分の家族をはじめ、世の多くの人々を飢えから救うために、神の器となったのです。イエスもまた、人々を救う神の器となるために、偉大な立場を捨てられたのである。キリストの生と死は、人々を罪の罰である霊的な死から救う道を作ったのです。ヨセフの認識では、彼の兄弟たちは確かに意図して悪を行いました。神は彼の状況を益となるよう計画され、信仰の面での”残りの者”たち（レムナント）を確立されました（創世記45：7）。同様に、イエスを十字架につけた人々は確かな悪意を持っていましたが、神の御子の犠牲の計画はすべての人の益のためでした。イエスの死によって、神は再び”残りの者”たち（レムナント）を救われたのです。



ヨセフの兄弟達エジプトへ行く

# 創世記42:1-38

# 創世記 42:1-38

## ヨセフの兄弟達 エジプトへ行く

### 聖書箇所

創世記 42:1-38

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。

### 概要

カナンで食料が不足したため、ヤコブは息子たちをエジプトに送ることになる。をエジプトに送る。しかし、ヨセフの弟であるベニヤミンは、ヤコブが彼を失うことを恐れて家に残りました。

ヨセフが兄たちに再会したとき、ヨセフは自分の身分をわざと隠す。ヨセフの兄たちが最後にヨセフに会ってから20年ほど経っていました。ヨセフが自分たちを認識しているにもかかわらず、彼らはヨセフが誰なのかわかりません。兄たちはヨセフの前にひれ伏し、ヨセフは兄たちの行動が自分の以前の夢を実現するものだとして解釈しました（創世記37：5-11）。通訳を通して会話をし、自分の正体を明かさずに、ヨセフが兄弟をスパイだと非難しました。ヨセフが兄たちにベニヤミンをエジプトに送ることで、自分たちの信頼性を証明するよう要求しました（16節）。そして、ヨセフの力を示すために、彼らを3日間拘束しました（17節）。シメオンを人質に取り、ベニヤミンを連れてカナンに帰ることを条件に、シメオン以外の兄弟をカナンに帰らせました。当然、ヤコブはこのことを認めるのを嫌がりました。

## 観察と意味

1. ヤコブはなぜ、兄弟のうち10人をエジプトに送ったのでしょうか（1～3節）。ヤコブはどの兄弟をエジプトに行かせなかったか（4a節）。なぜヤコブは、この兄弟を他の10人の兄弟と一緒にエジプトに行かせなかったのか（4b-5節）。
2. エジプトでのヨセフの役割（6節）について、この箇所ではどのように説明しているのでしょうか。これらの情報は、物語の残りの部分にとってどのように重要なのでしょうか？
3. ヨセフが兄弟をスパイだと非難し（9節）、兄弟に試練を与えました（14～20節）。兄弟たちは、ヨセフが自分たちを理解していることに気づかず、自分たちの間で議論を始めました（23節）。この話し合いの中で、兄弟は自分たちの現在の悩みを何に原因があると考えましたか（21-22節）？そしてなぜ、ヨセフがこのように応答したと思いますか？
4. ベニヤミンをエジプトに連れて行くという知らせに、ヤコブはどのような反応を示しましたか（36節）？ルベンは、ヤコブをどのように説得しようとしたのでしょうか（37節）。ヤコブのベニヤミンに対する思いは、他の兄弟に対する思いとどう違ったのでしょうか（38節）

注：ヤコブの断り文句「この子は、おまえたちと一緒にには行かせない。この子の兄は死んで、この子だけが残っているのだから」（38節 a）は、強い言葉である。「この子の兄」とは、ヨセフのことである。この二人はラケルの二人の息子（ヤコブの寵愛を受けた妻）である。ベニヤミンは「ただ一人残った」（38節b）、ヤコブにとってはかけがえのない息子なのです。

## 適応

- ヤコブのように、過去に失ったものや辛い経験から、所有物や他人を過剰に保護したり、依存したりするようになったことはありますか？
- もし、ヨセフのように、誰かがあなたのために立ち上がり、あなたの人生における辛い経験を未然に防ごうとしたことを初めて知ったとしたら、あなたはどのように感じるでしょうか？
- 私たちが神の怒りを経験しないようにするため、イエスが十字架にかかれたことを知る時、あなたのいる状況においてどのように励まされますか？





ヨセフの兄弟達エジプトへ戻る

# 創世記43:1-34

# 創世記43:1-34

## ヨセフの兄弟達 エジプトへ戻る

### 聖書箇所

創世記43:1-34

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。

### 概要

不思議なことに、裏切られたヨセフが、今度は自分の兄弟の運命を支配するようになります。ヨセフは、この一連の出来事を通して、自分が神から学んだのと同じ教訓を兄弟たちの人生においても実践しました。というのは、私達は逆境に立たされることによって、神のめぐみを受け入れることができるようになるということです。

ヨセフが神の前で心を開いていることは、兄弟たちの前で何度も泣き崩れたことから明らかです（42:24; 43:30; 46:29）。また兄弟達の内にも新たな優しさが生まれています。かつて憎んでいた弟を通して、神の変容の恵みが兄弟達の心に触れるのを見ることができます。前章ではルベンが同様の提案をしました（42:37）。ヨセフがベンヤミンをエジプトに連れてくるよう命じたとき、かつて弟（ヨセフ）を裏切った兄弟が、今度は別の弟（ベニヤミン）の命のために自分の命を賭けるのです。彼らは、ヨセフのように、自分の人生の出来事に神の御手があることを見始めているのです：「神は私たちにいったい何をなさったのだろうか？」（42:28）。

## 観察と意味

1. 兄弟を代表してヤコブに対応したのは誰でしょうか（3節）？他のどの兄弟が先頭に立つと想定されましたか？他のどの兄弟が率先して対応することを予想しましたか？その兄が前回ヤコブに介入しようとしたとき、ヤコブはどう対応したのでしょうか（42:37-38.を参照）？

注：ヤコブは、息子たちが自分をひどく扱ったことを非難している（6節）。兄弟たちは、ヨセフに話したことは、彼の入念な質問に応えたものだとして説明し、自分たちを弁護しました（7節）。私たちがこれらの記録を読むと、それらは異なっているように見えますが、私たちは聖書が矛盾していると考えるべきではありません。この2つの記述の間に緊張感があるのは、一方の記述が省略され（42:10-14）、他方の記述が補完的な情報を提供しているからかもしれません（43:7）。

2. ベンヤミンについて個人的に責任を取るために、誰が歩み寄り（8-10節）、どのような法的表現を用いて、彼が責任を取ることを望んでいますか？（9節）

創世記43:9a	私が.....となります
創世記43:9b	私は責任を負います
創世記43:9c	私は... 罪のある者となります

3. 兄弟はヤコブの指示に従って、ヤコブが勧めた3つのものを持ってきます（43:11-13）。到着後、彼らは何をしたのでしょうか（15節b）

注：旧約聖書では、「誰かの前に立つ」という表現は、謙虚に敬意を払う姿勢をとることを意味します。これを「召使」、「仕える」、「奉仕に入る」、「奉仕にとどまる」という意味に解釈する訳もある。他にも、同じように人の前に立つ人を指す箇所があります（創世記41:46; 列王記第一10:8; 申命記1:38; サムエル記16:21-22参照）。

4. 兄弟たちは、ヨセフが何者であることを知らないまま（26節）、ヨセフにひれ伏し、自分たちの安否を問うのである。ヘブライ語では、ヨセフが「シャローム（平和）について尋ねた」と書かれています。この言葉は以前にも見たことがあります（37:4; 37:14参照）。ヨセフが食事を始めると、最後の節で、この家族に大きな祝福がもたらされることが二点示されています（34節）：
  - i. ベニヤミンはどのように優遇されていますか？
  - ii. 飢饉の時、兄弟はどのように優遇されていましたか？

## 適応

- この聖書箇所から、人間の本质について何を学べますか？
- この聖書箇所から、神について何を学べますか？
- あなたの人生のどのような点で、解決をもたらす転換期が来ることや 幸福な結末を迎えることを待っていると思いますか？こういったことを待つ中であなたのためにどのようにお祈りできますか？

**「彼らはヨセフの前で、年長者は年長の席に、  
年下の者は年下の席に座らされたので、一同は互いに驚き合った。  
また、ヨセフの食卓から彼らの分が与えられたが、  
ベニヤミンの分は、ほかの者より五倍も多かった。  
彼らはヨセフとともに酒を飲み、酔い心地になった。」**

(創世記43:33-34)



ヨセフ兄弟達を試す

# 創世記 44:1-34

# 創世記 44:1-34

## ヨセフ兄弟達を試す

### 聖書箇所

創世記44:1-34

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。

### 概要

ユダは、兄の代わりに身代わりとして前に出ます。彼はヨセフに、弟ベニヤミンの代わりに自分をエジプトに捕虜としておくよう頼みました。この瞬間、ヨセフの心はついに砕かれ（創世記45:1）、兄弟たち

に自分の正体を明かすことになるのです。ユダは今、危険にさらされている弟のために自分を犠牲にすることを望んでいます。それは数年前まではヨセフのために兄弟がしたくなかったことです。

この章に出てくるユダは、以前の章でひどい罪を犯していたユダ（創世記37-38参照）であることを思い出しながら、私たちは、神の恵みは過ちを記録するものではないことを理解するようになります。その代わりに、神は私たちを神の方法で成熟させてくださるのです。イエスは「友のために命を捨てること、これにまさる愛はない」（ヨハネ15:13）と言われました。ユダはこのことを体現しています（創世記44章）。彼はこうすることで、彼は先に来る道の道を準備して、自分の子孫であるイエス・キリスト（一人の人間のためではなく、彼に信仰を置くすべての人のために身代わりとなる方）の性格を予見していたのである。

ユダがヨセフに言ったことを、イエスは父に言ったのです：「私はあなたの前で罪のある者となります。」（創世記44:32）。ユダがヨセフに言ったことを、イエスは父に言ったのです：「私はあなたの前で罪のあるものとなります。」（創世記44:32）。人類史上最も壮大な身代わりは、エルサレム郊外のあまり知られていない丘で行われ、イエスは私たちのために自らの命を捧げられました（2コリント5:21）。

## 観察と意味


注：ヨセフの試みは、末の弟ベニヤミンに対する兄弟たちの真の態度を明らかにするためのものと指摘されています。彼らはベニヤミンを救い出そうとし、ベニヤミンのために自分を犠牲にするのだろうか？弟と父を愛するのか、それとも自己保身に走り続け、自分を優先するのか。

1. ヨセフが家を管理する者に、兄弟を告発するように言ったのは何のためでしょうか（v.4）？
2. 兄弟たちは、この告発に困惑しています。家を管理する者がなぜそのようなことを言うのか疑問に思った後、どのような理由を用いて、その告発が馬鹿げていることを納得させようとしたのか（8節）？
3. ベニヤミンの持っていた銀の杯を見て、兄弟はどのような3つのことをするのか（13節）。ここで行ったことで、兄弟が変わり始めたことがどのような形で読者に伝えられていますか（44:11-13）？

4. ユダはあわれみを求め（44:14-34）、自分の罪を告白し（14-16節）、罰を受け入れ（17-34節）、ヤコブのために嘆願し（18-32節）、ベニヤミンのために自分を差し出しました（33-34節）。ユダはベニヤミンのために何をしようとしたのでしょうか（33節）？このことは、ユダという人物について何を物語っていますか？このユダは、創世記37-38で見たユダとどう違っていませんか？

## 適応

- この聖書箇所から、人間の本质について何を学べますか？
- この聖書箇所から、神について何を学べますか？
- ユダは、自分の家族に対する新たな姿勢を示しました（以前の章で見られた利己的な性格とは対照的です）。ユダに対する神の恵みを思い出す時、どこであなたの人生の過ちの記録をつけるのをやめる必要がありますか？



ヨセフ兄弟達に与える

# 創世記45:1-28



# 創世記45:1-28

## ヨセフ兄弟達に与える

### 聖書箇所

創世記 45:1-28

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。

### 概要

ユダの演説に感動したヨセフは、感情を抑えることができない。自分の正体を、驚いた兄たちに自分の正体を明かします。長い演説の中で、家族の命を守るために自分をエジプトに送った神の役割を強調し、ヨセフは兄たちの罪悪感を和らげようとしました。

飢饉がさらに5年続くと予想される中、ヨセフは家族の残りをエジプトに連れて行くために、兄弟をカナンに送り返す。ヨセフが兄弟を騙したことが正しかったかどうかについては、作家は一切触れていません。兄たちはヨセフにしたことの罪を認め、父と末の弟のことを心配したのです。その結果、ヨセフと兄弟たちの間に赦しが生まれたのです。

### 観察と意味

1. ヨセフが姿を現したとき、彼は声明を出し、また質問を投げかけました。それらは何ですか（3節）？兄弟達はどのように反応し、なぜこのように反応したと思いますか（3節）？もしあなたが兄弟の一人だったら、落胆しますか、それとも喜びますか？
2. 兄たちがショックを受けていることを理解したヨセフは、「どうか私に近寄ってください」と誘い（4節）、彼らへ指示を与えます。そして指示のはじめと終わりから見てとれるのは彼にも一つの懸念事項があったことです（9～13節）。この2つの節で言及されているのは誰でしょうか？その人に何が起こるのでしょうか？それはいつ起こるのでしょうか？

3. ヨセフの家族は、飢饉のために存続が危ぶまれていました。しかし、ファラオの寛大な申し出によって、神は彼らの運命を変えられた。ファラオがヤコブに提供した土地の価値はどのようなものか（18a）。食べ物の質と量はどのようなものでしょうか（18b,20節）？ヤコブの家族をエジプトに移すための費用は、誰が補助してくれることになりましたか（19節）？

注：この物語を通して、神は「摂理の神」であることがわかります。ウェストminster小教理問答（カテキズム）は、神の摂理を次のように定義しています：「神の摂理とは、最も聖なるものであり、（詩篇145:17）賢く、（詩篇104:24、イザヤ28:29）力強く、そのすべての被造物とそのすべての行為を守り、（ヘブル1：3）統治することである。

4. 以下の箇所を読んで、神が、たとえ罪深い人間であっても、ご自分の良い目的に従って人間を支配し、導いていることをどのように見てとれますか？

使徒の働き 2:23-24	
使徒の働き 4:24-28	
ヨハネ 19:10-11	

## 適応

- この聖書箇所から、人間の本质について何を学べますか？
- 神を中心とした世界観は、私たちの天の父がすべてのものを支配していることを思い起こさせます。あなたは、どのような状況で、この真理を信じられずに苦しんでいる自分に気づきますか？どのような状況にある時、あなたの神中心の世界観はよく揺らぐのでしょうか？
- ヨセフの人生を通して働く神の摂理を知ることは、あなたの心にどのように作用し、また人生観を安定させることができるでしょうか？



ヤコブとヨセフの再会

# 創世記 46:1-34

# 創世記 46:1-34

## ヤコブとヨセフの再会

### 聖書箇所

創世記 46:1-34

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。

### 概要

ヤコブは、父イサク（創世記26：23-33）と祖父アブラハム（創世記21：22-34）が一時期住んでいたベエルシェバ（1節）へ南下する。エジプトに向かう前、神は幻の中でヤコブに語りかける（2節）。それまで、神はイサクがエジプトに行くことを禁じていた（創世記26:1-5）。しかし、「わたしはまた、あなたを連れ戻す」（4節）は、エジプトからの脱出の約束（創世記15:13-16参照）であると同時に、ヤコブ自身が約束の地に葬られることへの安心感である。ヨセフの物語の背景には、「地のすべての部族は、あなたによって祝福される」（創世記12:3）というアブラハムへの神の約束があり、この約束を念頭に置くと、ヨセフの卓越した管理者としてリーダーシップを通して、神の目的が働くことがわかるのです。ヨセフを通して、アブラハムの子孫は、神の約束通り、大いに祝福された。

**「地のすべての部族は、あなたによって祝福される」**（創世記12:3）

## 観察と意味

1. ヤコブはエジプトに向かう前に立ち寄ります（1節）。どこへ立ち寄ったのでしょうか。そこで何をしましたか？なぜ、そのようなことをしたのだと思いますか？これらの箇所を見て、ここで他に誰が神を礼拝していたのかに注目しましょう：

創世記 21:33-34	
創世記 26:33-34	

注：神とヤコブとの対話（2-4節）は、ヤコブが生贄を捧げた後に行われたことに注目してください。これは、ヤコブがカナンを離れてエジプトに行くことについて神に表明した懸念を、この幻の中で取り上げていることを示しているのかもしれませんが。

2. 神はヤコブに4つの約束をしています。ヤコブにとって最も大切なのはどれだと思いますか？

創世記 46:3	
創世記 46:4a	
創世記 46:4b	
創世記 46:4c	

3. 「イスラエルの息子たち」は、どんな人間の「荷物」を持ってエジプトに向かいましたか（5節）？誰が彼らの旅するための手段を提供したのでしょうか？他に何を運んでいましたか（6節）？
4. 「イスラエルの息子たち」は、どんな人間の「荷物」を持ってエジプトに向かいましたか（5節）？誰が彼らの旅するための手段を提供したのでしょうか？他に何を運んでいましたか（6節）？子孫のリストは、4つのグループに分けられる（8-27節）。レアの子（8b-15節）、ジルパの子（16-18節）、ラケルの子（19-22節）、ビルハの子（23-25節）である。ヤコブと共にエジプトに移動した子孫は何人いたのか（26節）。ヤコブの子孫は、全部で何人いたのか（27節）？

## 適応

- この聖書箇所から、人間の本质について何を学べますか？
- この聖書箇所から、神について何を学べますか？
- あなたにとって一番投げ所になりにくい神のどの属性や約束は何ですか？ヨセフの物語は、この特定の属性や約束に対するあなたの信頼を高めるために、どのように役立つでしょうか？



ヨセフと飢饉

# 創世記 47:1-31

# 創世記47:1-31

## ヨセフと飢饉

### 聖書箇所

創世記 47:1-31

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。。

### 概要

この章の最後に、ヨセフの家族がエジプトに定住して、「多くの子を生み、大いに数を増やした」（27節）という記述があることに注目することが重要である。これは、創世記の冒頭で神が「生めよ。増え

よ。地に満ちよ。地を従えよ。」（創世記1:28）と言われたことに遡ります。ヨセフを通し、神はアダムとエバに与えられた最初の使命を回復し、復元しているのです。

選ばれた家系の一族が増える一方で、地が支配されることはありませんでした。むしろ、創世記が終わり、出エジプト記が始まる時、ヨセフの家族は支配されることとなります。苦難によって実を結ぶという逆説的な原則（パラドックス）は、ヨセフの生涯ですで見られるものであり、出エジプト記でさらに強調された（出エジプト記1:7, 12）ように、新約聖書ではさらに強まることとなります。この原則は、イエスの生涯にはっきりと表れています。「キリストは弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力によって生きておられます。」（2コリント13:4）。イエスは、ご自身の教えにおける麦の粒です。「まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。」（ヨハネ12:24）イエスの贖罪の死と復活は、救いの実を結ぶ。

### 観察と意味

1. 次の場面（13節）の文脈を与えられています。どんな状況でしょうか？その結果、どのようなことが起こりますか？この結果をどこで経験することになるのでしょうか？

2. ヨセフはこの状況に対応して行動しました（14節）、そして家畜と交換しました。（15～17節）ヨセフは人々にどんな財産を売ることを提案するのか（16節）。ヨセフは、それと引き換えに何を与えるのか？
3. ヨセフは財産と奴隷を手に入れ（18-22節）、やがて民衆に税金を課しました（23-26節）。エジプト人はこの取り決めをどう感じていると思いますか（25節）？彼らは自発的にこの協定を結んでいるのだろうか？この取り決めによって、彼らは何か利益を得ているのでしょうか？
4. エジプト人が未曾有の食糧難に直面する一方で、エジプトの祭司たち（ファラオに気に入られている）とイスラエル人（ヤハウェに気に入られている）という2つのグループが影響を受けずに残っています。彼らはその土地で何をしているのか（27節 b）。このことは、神のアブラハムへの約束（創世記15:14参照）とどのような関係があると思いますか？

注：ヨセフは、民衆とその土地を手に入れることで、（ファラオの名において）彼らが糧を得るためにその土地を耕すという借家関係を確立しました（23節）。ヨセフの宣言（23節）は、民衆の要求（19節）と呼応しており、ヨセフを抑圧的な策略家としてではなく、貧困層を支援する協力者として描いている。国家は「種」を提供し（23節）、

収入の一部を受け取りました（24節）。5分の1という金額は（創世記41:34参照）、ヘブライ人の持つ返還と贖罪の法則に似ており、価値の合計に5分の1が加えられました（レビ記5：16、24、27：13-31参照）。この場合、5分の1は王家の税であり（創世記41:34-37、2列王23:35、アモス7:1、ネヘミヤ5:4）、儀礼上の要求ではありません。税金の不正流用は一般市民にとって常に脅威であり、それは一般的に下層階級の抑圧につながりました（1列王4:7-28; 12:1-24; アモス 5:11 参照）。ここで重要なのは、人々がヨセフを救世主とみなしていたことです：「あなた様は私たちを生かしてくださいました」（25節）。彼らはヨセフの計画を喜んで受け入れ、自分たちが最初に提案した奉仕を成し遂げます（19節）。

#### 適応

- この聖書箇所から、人間の本质について何を学べますか？
- この聖書箇所から、神について何を学べますか？
- 自分の人生を振り返ってみて、苦難を乗り越えて実を結んだ経験はありますか？その経験を通じて何を学びましたか？そのような経験は、他の人をどのように勇気づけることができますか？



“ヤコブはエジプトの地で十七年生きた。ヤコブが生きた年月は百四十七年であった。イスラエルに死ぬ日が近づいたとき、彼はその子ヨセフを呼び寄せて言った。「もしおまえの心にかなうなら、おまえの手を私のももの下に入れ、私に愛と真実を尽くしてくれ。私をエジプトの地には葬らないでほしい。私が先祖とともに眠りについたら、エジプトから運び出して、先祖の墓に葬ってくれ。」ヨセフは言った。「必ずあなたの言われたとおりにいたします。」イスラエルは言った。「私に誓ってくれ。」ヨセフは彼に誓った。イスラエルは寝床の枕もとで、ひれ伏した。”

(創世記 47:28-31)



神の良い目的

# 創世記 50:1-26

# 創世記50:1-26

## 神の良い目的

### 聖書箇所

創世記 50:1-26

### 大きな目的

ヨセフは、複雑な家庭で育ちました。彼は、裏切り、苦難、不正、そして孤独に耐えました。しかし、聖書の中で最も劇的な逆転劇の中で、ヨセフが権力と権威のある場所に上り詰め、神の民を救い、契約の家族を守ったのです。ヨセフの物語は、「愛する息子」の人生における神の摂理の物語です。ヨセフの物語は、来るべき「大いなる子」を予感させます。

### 概要

この章の最後に、ヨセフの家族がエジプトに定住して、「多くの子を創世記の結末は、アブラハムに与えられた土地についての約束は現在進行形で成就していることを強調しています（創世記12:1-3、7参照）。

そしてヤコブの人生最後の願いカナンのマックペラにある先祖代々の墓に埋葬されることでした。これは、アブラハムがそこに元々いた住民から買った土地です（創世記49:29-30、創世記23:1-20）。この願いを実現するためには不便な旅が必要であるにもかかわらず、この願いは尊重されました。このことは、創世記の最後に、死にゆくヨセフが息子たちに、自分もやがてカナンに引き上げられると告げる言葉にも表れています（22～26節）。ヨセフが初めて兄たちに姿を見せたとき、自分をエジプトに送ったのは神であり、兄たちではないと三度も言いました（創世記45:5、7-8）。神をも恐れぬ人々の悪行も含めて、すべての物事はめぐみ深い神の支配下にあるからです。神はその民にとって良いことを意図しておられるのです（20節）。この真理のクライマックスは、カルバリの十字架の上にあります。しかし、それすらも神の善き目的の内にあつたのです。神はそこにおられました。神はその民とともにおられるのです。イエスは「神の明確な計画と予知に従って引き渡されました」（使徒2:23、4:27-28）。

これは、そのような悪を実行する邪悪な行為を免罪するものではありませんが、歴史のどの時点で何が起きているのか（たとえ悪が勝利しているように見えるときでも）、大きな展望を与えてくれるものなのです。イエスは「**神の明確な計画と予知に従って引き渡されました**」（使徒2：23、4：27-28）。

これは、そのような悪を実行する邪悪な行為を免罪するものではありませんが、歴史のどの時点で何が起きているのか（たとえ悪が勝利しているように見えるときでも）、大きな展望を与えてくれるものなのです。神はご自身の贖罪の目的を遂行しておられるのです。

### 観察と意味

1. 父親が死んだのを見て、兄弟は互いに話し始めました（15節）。兄弟たちは、ヨセフが自分たちに何をするのではないかと恐れているのでしょうか（15節b）。なぜ、ヨセフがそのようなことをすると考えたのでしょうか（15節b）？
2. 兄弟達はこの危機的状況を回避するために行動を起こします（16-17節）。彼らはひれ伏すとともに、ヨセフとの関係をどのように表現しましたか（18節b）？
3. ヨセフの最後の言葉は、私たちに福音の本質を思い起こさせます。しかし、ヨセフは兄たちが恐れていることを認識し、恐れてはいけない3つの理由を示しています（19-21節）。その3つの理由とは何でしょうか。

創世記 50:19	
創世記 50:20	
創世記 50:21	

注：ヨセフは「恐れることはありません、どうして、私が神の代わりになることができますでしょうか」（19節）と語っています。なぜなら、ヨセフは自分が神の代わりに支配したり裁いたりすることはできないことを知っていたからです。これはあわれみでした。イエスは、罪深い人間にふさわしい罰を共有されました。

4. ヨセフと兄弟たちは、どこで余生を過ごすことになりますか（22節）？ヨセフは何歳で死ぬことになりますか（26節）？

**「恐れることはありません。  
どうして、私が神の代わりになることができるでしょうか。」**

(創世記 50:19b)

## 適応

- ヨセフの物語を学ぶ中で、どんな予期せぬ驚きに出会いましたか？
- ヨセフの物語を学ぶことで、あなたの神に対する見方はどのように広がりましたか？
- ヨセフの物語から学んだことで、今後に生かしたい大切なことを1つか2つ教えてください。

**ですから、もう恐れることはありません。**

**私は、あなたがたも、あなたがたの子どもたちも養いましょう。」**

(創世記 50:24)

<https://www.gracecity.jp>

